

TK-53 クレーン

組立説明書

株式会社 レントアクト昭特

TEL(044)820-1030 FAX(044)820-1150

<https://www.rentact.co.jp>

操作部 ケース



- ・操作部:1 個
- ・操作部固定ナット:1 個
- ・ズーム用パン棒:1 個
- ・ウエイト付きパン棒:1 個
- ・フォーカス用パン棒:1 個
- ・T 型パン棒:1 個
- ・モニチルワイヤー:1 個
- ・デマンド固定ツマミ:3 個
- ・モニター固定ツマミ:1 個

操作支持部 ケース



- ・操作支持部:1 個
- ・12V電源 BOX:1 個
- ・ドライブアンプ:1 個
- ・ウエイトバー:1 個 ※ウエイトカラー:2 個付属
- ・リモコンケーブル:1 本
- ・同軸ケーブル:1 本
- ・コントロールケーブル:1 本
- ・ポットケーブル:1 本
- ・キャノン用デマンドケーブル(ズーム、フォーカス):各 1 本
- ・フジノン用デマンドケーブル(ズーム、フォーカス):各 1 本
- ・AC ケーブル ショート(キャノン 2 ピン):2 本
- ・DC ケーブル(キャノン 4 ピン):2 本 ※ロング:1 本、パラレル:1 本

カメラ取付部 ケース



- ・TG-13 リモコン雲台:1 個
- ・リモコン雲台固定ナット:1 個
- ・リモコン雲台取付部:1 個
- ・リモコン雲台上付け用アタッチメント:1 個
- ・Lレンチ:1 個
- ・AC ケーブル(平行):1 本

カウンターウエイト



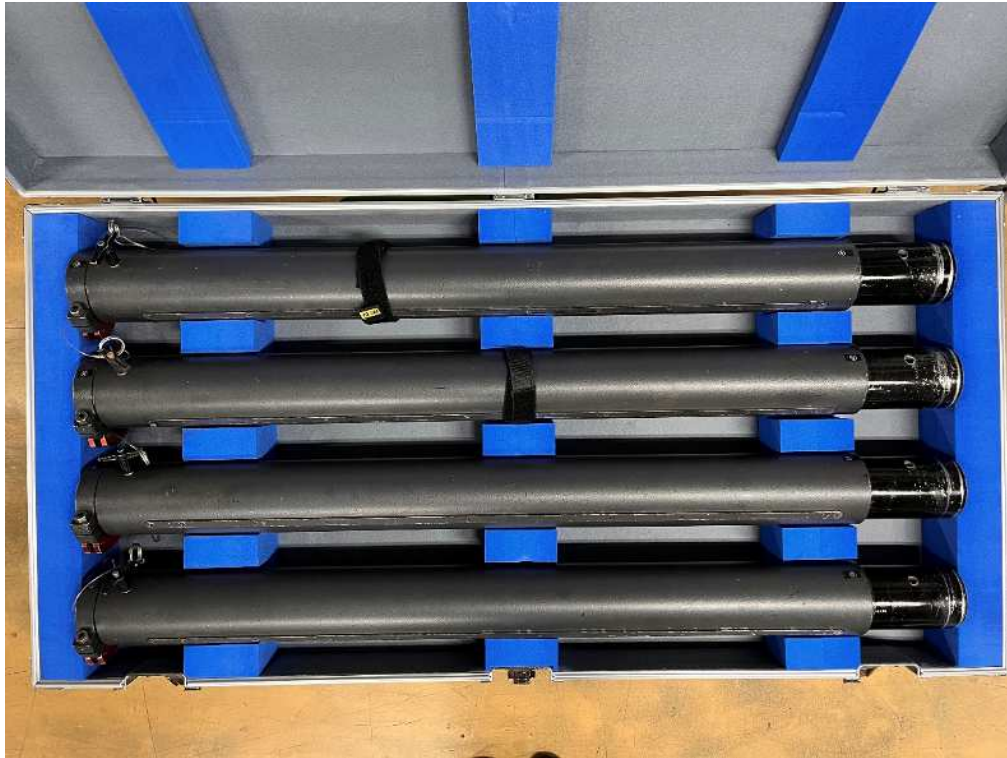
- ・10 kg: 2 枚
- ・5 kg: 14 枚
- ・2.5 kg: 6 枚
- ・1.25 kg: 2 枚
- ・0.5 kg: 2 枚
- ・ウェイトバッグ: 4 個

支柱(センターポスト)部



- ・支柱部(センターポスト):1 個
- ・ウイングナット:1 個 ※増し締め用ハンマー、叩き棒が各 1 個付属
- ・重心バランス用軸:1 個
- ・微調用スライドウエイト:1 個

アーム(中間)ケース



・中間アーム:4本

アーム(先端&後方)ケース



- ・先端アーム:2本
- ・先端アーム連結用リンク:1個
- ・後方アーム:2本 ※内1本はリンク付随

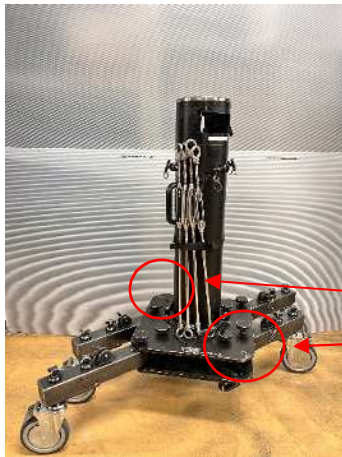
組立手順

※組立は、必ず2名以上で行ってください。

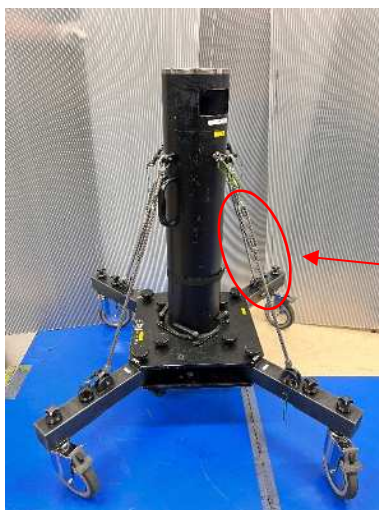
※クレーンの組立は、前後のバランスに注意しながら、行ってください。

① センターポスト部

- ◆ TI-08台車の脚を開き、各脚のノブ及びターンバックルがきちんと締めて、センターポスト部を載せます。
この時、ハットのキー溝とセンターポスト部のシルバーキーを合わせてください

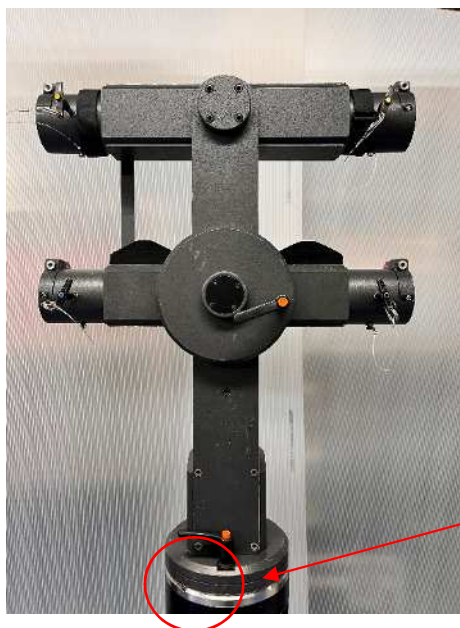


・赤丸箇所のノブを外して脚を開き、ノブを①→②の穴に挿入してノブを締めこむ。



・ターンバックル4箇所をT型ロックピンで固定し、下記図の方向に締める。





・台車のハットのキー溝とセンターポスト部のシルバーキーを合わせる。



- ◆ センターポストを載せた後にウイングナットをハットの下から締めつけます。手で締めこんだ後、ハンマーでたたいて増し締めを行ってください。

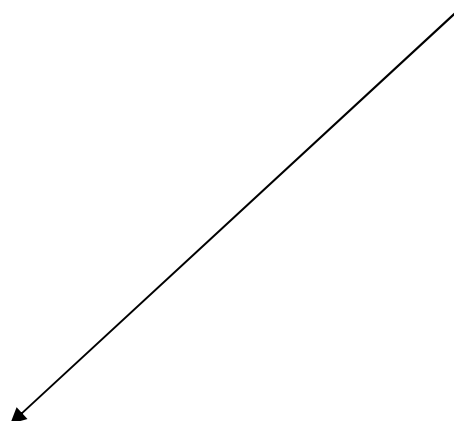
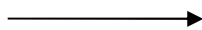


◆センターポスト部上部に重心バランス用軸を取り付けます。



②操作部側アームの組立

- ◆アームの組立は、アームについている番号(シール)同士を合わせ行ってください。
後方下アーム⇒後方上アーム(短)の順にて。
アームのレバーを外し(上にあげる)、ピンを抜き、アームを挿入します。
アーム挿入後、再度ピンを挿入してレバーを入れる(下げる)。



◆ 後方下アームに取り付いている縦リンクを後方上アーム(短)に押し当てて、ピンを挿入します。



③カメラ側アームの組立

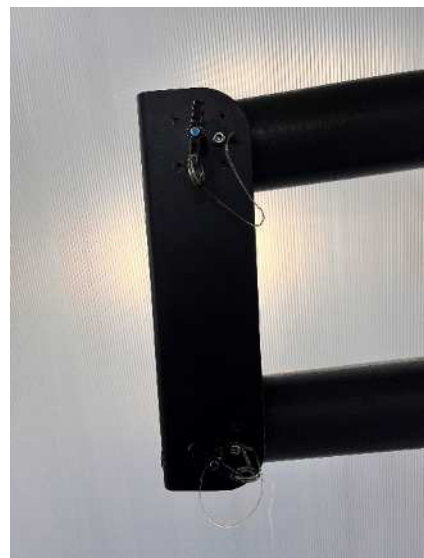
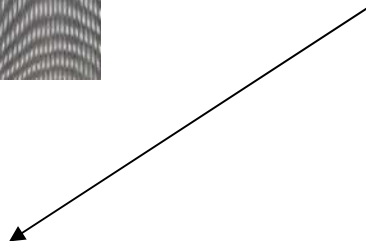
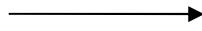
◆カメラ側のアームの組立も、操作部同様に行います。

(中間アームの本数により、ロングタイプとショートタイプが選べます。)

中間アーム(上下各2本)⇒前方アーム⇒前方縦リンクの順にて。

※先端アームを繋げますと前重心になりバランスが取りづらくなります。

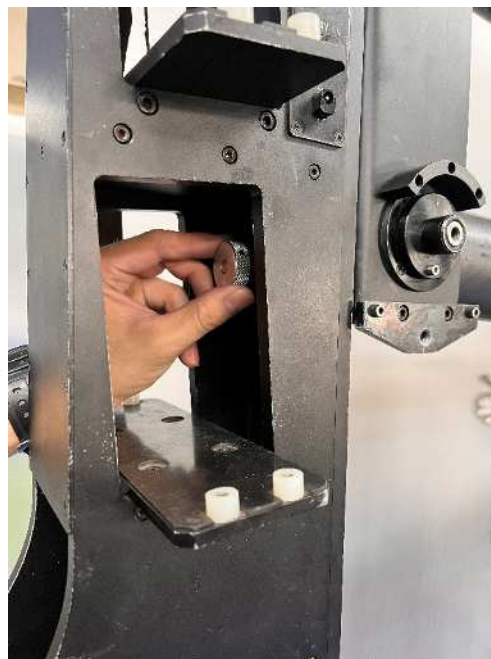
その場合はアームの下に脚立等で支えますと組立しやすくなります。



・溝が上に来るように組み立てること。

④操作支持部の取り付け

◆ 操作支持部の上部爪を後方縦リンクの溝に引っ掛け、ツマミを回し固定します。



◆ ウェイトバーの取り付け

操作支持部の根元の穴にウェイトバーを挿入。

ウェイトバー挿入時、バーのセンター溝穴位置を合わせてロックピンの位置まで挿入します。

挿入後、ロックピンを入れます。

※ロックピンが入りにくい場合、ウェイトバーを回転させますとピンが入りやすいです。

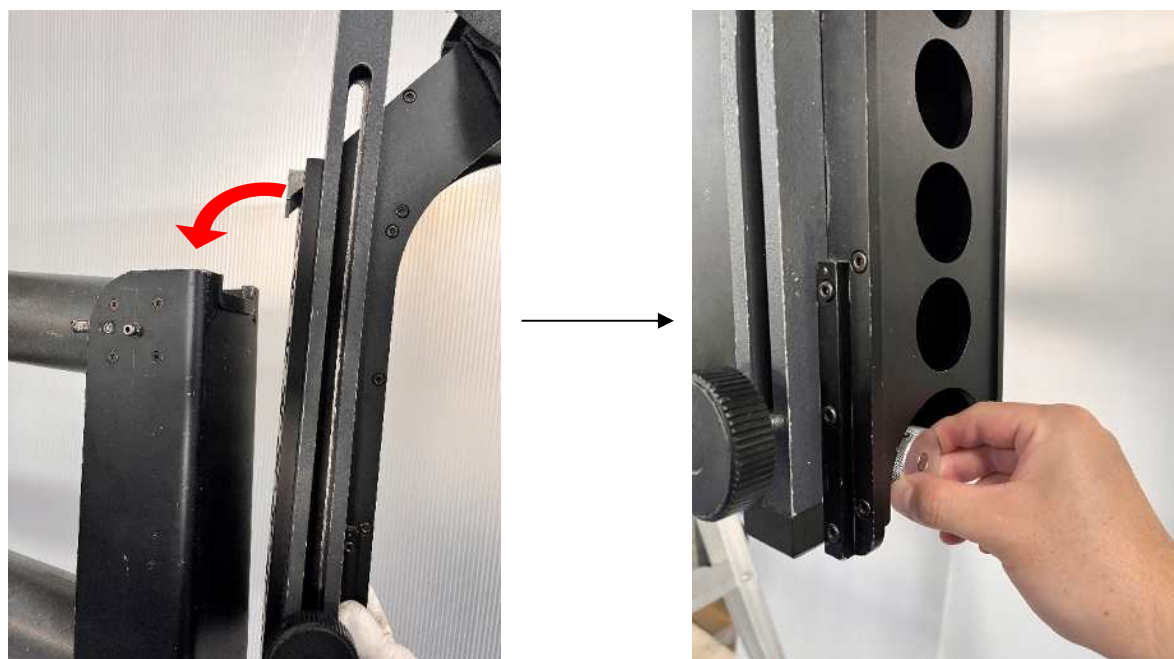


・ウェイトバーを挿入する穴



⑤リモコン雲台支持部の取り付け

◆上部の爪を前方縦リンクの溝に引っ掛けて、ツマミを回し固定します。



⑥リモコン雲台部の取り付け

- ◆リモコン雲台支持部の案内ピンを雲台部の溝に合わせて、取付ツマミを固定します。
- ◆雲台は、上付けも可能です。

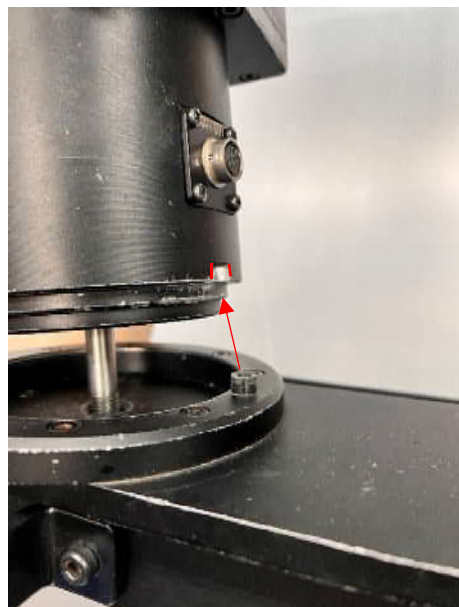


・雲台部の溝は切り掛けが 1 段で終わっている所に案内ピンを合わせること。



⑦操作部の取り付け

◆操作支持部の案内ピンの位置に合わせて、上から操作部を載せ、取付ツマミを締めて固定します。



⑧微調用スライドウェイトの取り付け

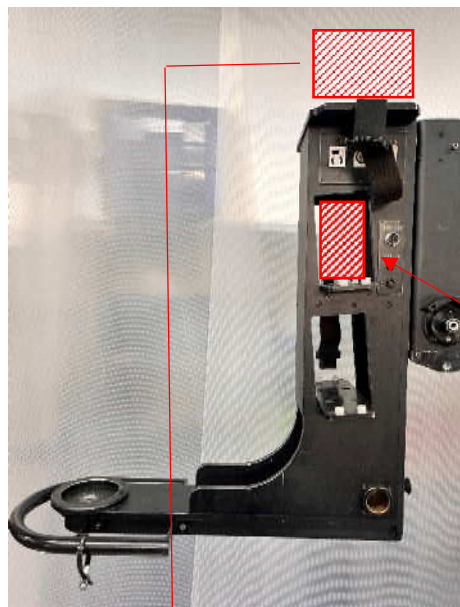
◆移動ウエ

イトを操作部上部アーム(支柱より後方)に乗せて、ノブでロックします。



⑨ドライブアンプ・電源ボックスの取り付け

- ◆電源ボックスを、操作支持部の中間収納スペースに載せます。
- ◆ドライブアンプを、操作支持部の上部に載せ、バンドで固定します。

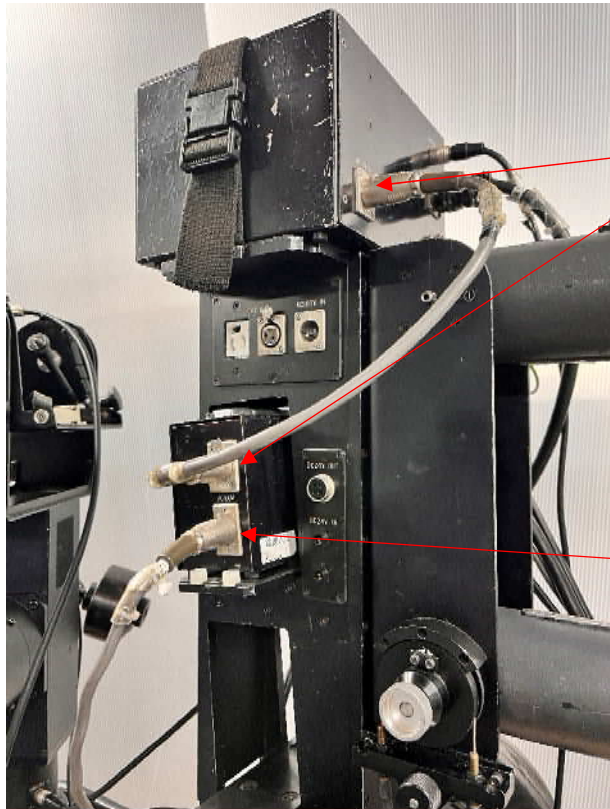


・電源 BOX



・ドライブアンプの落下を防ぐ為、バンドで固定します。

◆ドライブアンプ・電源ボックス取り付け後に AC ケーブルを取り付けます。



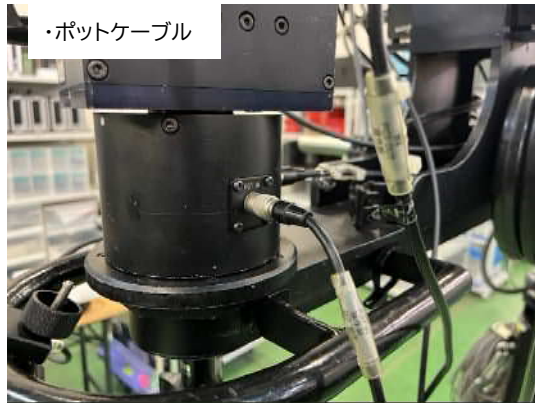
・ドライブアンプと電源ボックスを AC ケーブルショート(キャノン 2 ピン) で接続します。

・電源ボックスと AC ケーブル(平行)を接続します。

◆コント、ポットケーブルを引き回します。
コントケーブルをドライブアンプに接続する。

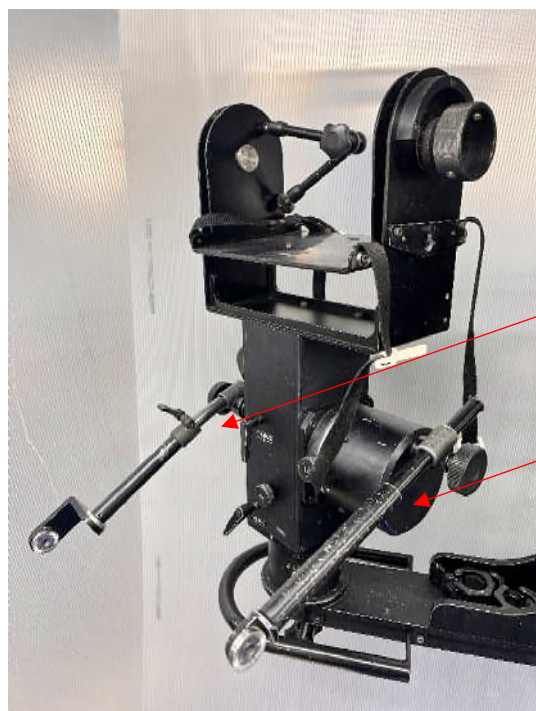


◆コント、ポットケーブルを引き回します。
ポットケーブルを引き回します



⑩パン棒・フォーカス棒、デマンドの取り付け

◆パン棒を左側、フォーカス棒を右側で菊座を合わせて固定します。



・パン棒

・フォーカス棒

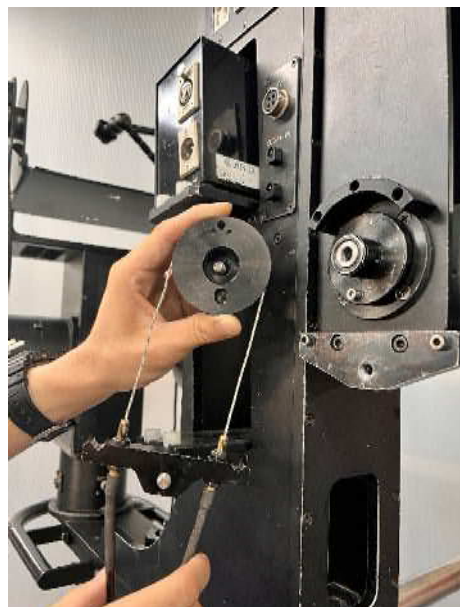
◆ズームデマンドを左側、フォーカスデマンドに右側で菊座を合わせて固定します。



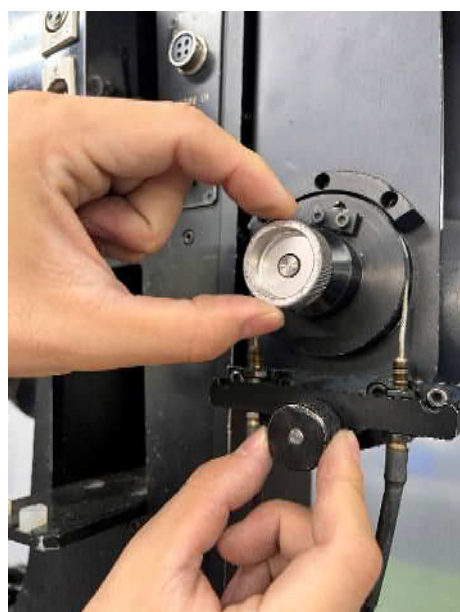
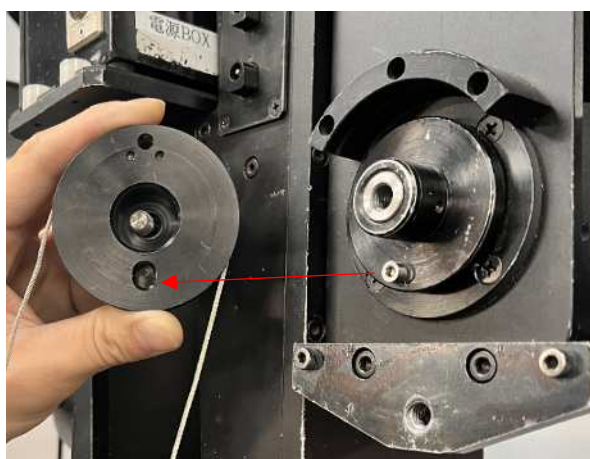
⑪モニチルワイヤーの取り付け

◆アーム側プーリの取り付け

後方アーム下のリンクにモニチルワイヤーのプーリ(小)を取り付けます。



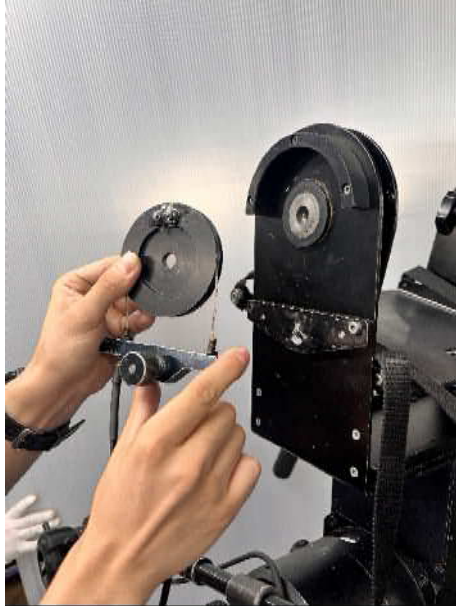
・リンク側の案内ピンとプーリ側の溝を合わせる。



・ノブを 2 箇所締めて固定します。

◆アーム部プーリの取り付け

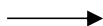
操作部のモニター台にモニチルワイヤーのプーリ(大)を取り付けます。
プーリ(小)と同様にノブ 2 箇所を固定します。



⑫カメラの搭載

◆リモコン雲台にフネを取り付けます。(2本のツマミネジで固定)

※フネは付属していません。

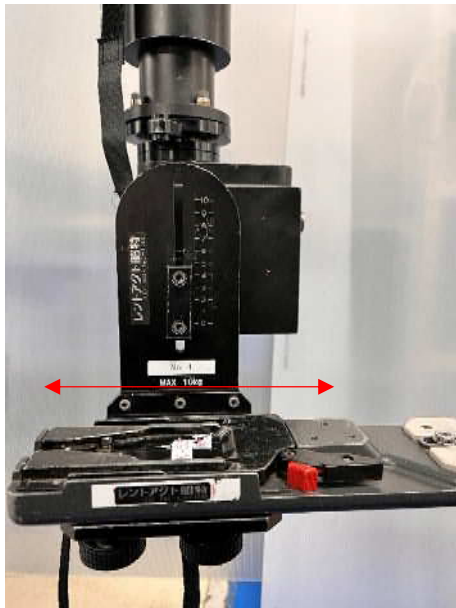


◆リモコン雲台にカメラを搭載して、バランスを確認する。(チルト角を傾けてカメラが動かなければOK)



◆ バランスが取れない場合は、カメラを一旦外して前後、上下バランス調整をします。

前後バランス調整



- ・2本のツマミネジを緩めて、フネの位置を前後に動かします。

上下バランス調整



- ・2本の六角穴付きネジを緩めて、カメラ取付部(L型金具)を上下に動かします。

⑬モニターを搭載

◆操作部のモニター台に付属モニター(9インチ)を取り付けます。



・モニター付属のビスで固定します。



・モニターをビスで固定後にバンドで固定します。

⑭ケーブルを引き回し

◆クレーン操作に必要なケーブルを引き回します。



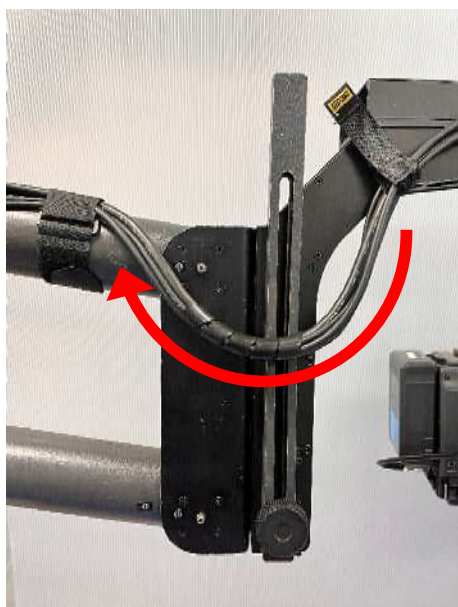
・チルト角を上下、パンを左右に振った時にケーブルの引っ掛かり、突っ張りが無いか確認します。



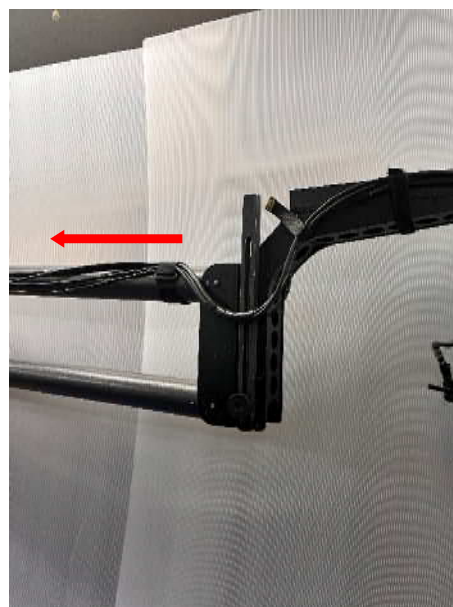


◆ケーブルを後方アーム側に引き回します。
引き回しに余裕を持たせます。

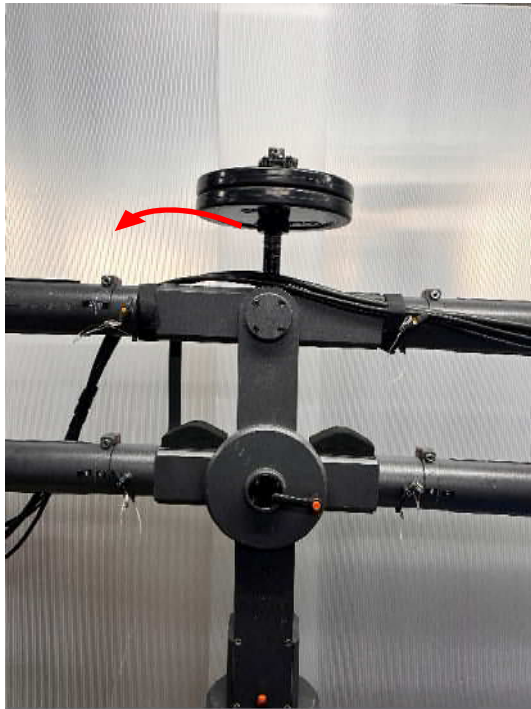
・可動部分は余裕を持たせます。



・アームに沿って後方へケーブルを引き回します。



◆重心バランス用軸を過ぎたら、反対側にケーブルを引き回します。



・反対側に引き回し時、ケーブルが突っ張らないように引き回します。

◆操作支持台に付属しているバンドでケーブルをまとめます。
また、リモコンケーブルをドライブアンプに接続します。



・ケーブルが突っ張らないように余裕を持たせます。
・リモコンケーブル接続箇所

◆操作部側に同軸ケーブル、デマンドケーブルを引き回します。

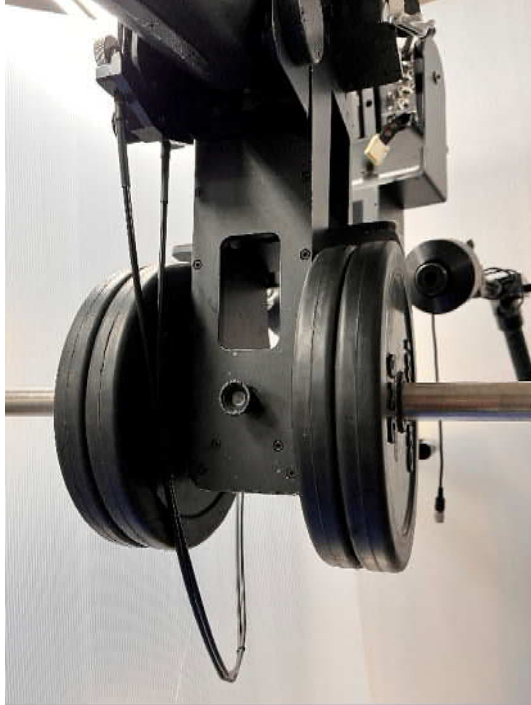


・同軸ケーブルはモニターに、デマンドケーブルはデマンドに接続します。

⑮カウンターウイトでのバランス調整

◆アームの水平バランス調整

最初にウエイト 5 kg:4 枚をウエイトバーに搭載します。



◆ウエイト 5 kg搭載後、カメラの重さに合わせてウエイトを追加していき、アームを水平にしてバランスが取ればOKです。



※ウエイト取り付け後は、ロックナットで固定します。

アーム長別ウエイト量 ※参考(カメラ搭載時)
ロング 10kg 2枚、5kg 10~11枚
ショート 5kg 4~5枚

2.5kg以下のウエイトを付加して微調整して下さい。

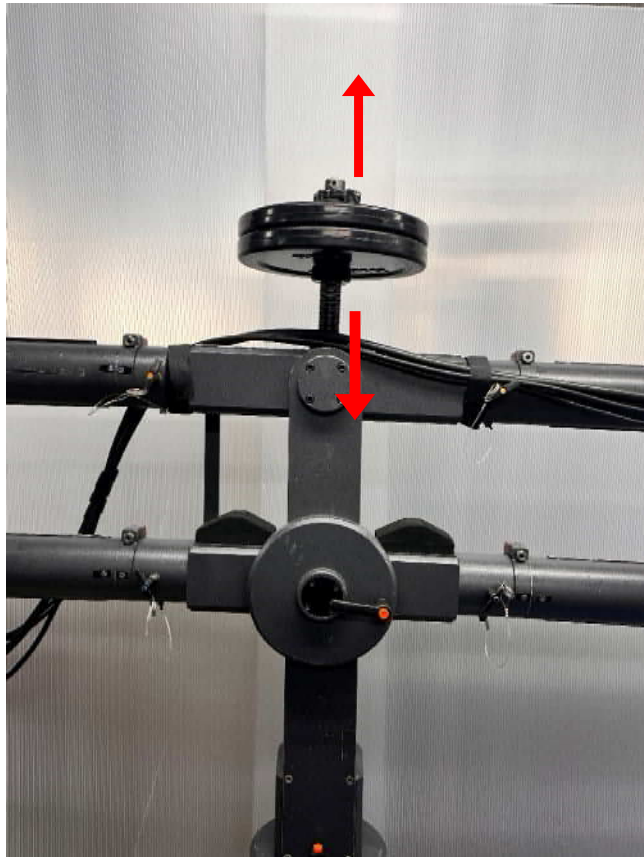
◆アームの重心バランスの調整

重心バランス軸にウエイトを搭載します。

※搭載するカメラによってウエイトが変動します。

ウエイト搭載後、アームを上げて任意の位置で止まるか確認します。

この時にアームが上がる or 下がるようでしたら下記調整が必要になります。



・アームを上げた時にアームが勝手に上がる場合、
重心バランスウエイトの位置を下に下げます。

・アームを上げた時にアームが勝手に下がる場合、
重心バランスウエイトの位置を上を上げます。

アーム長別ウエイト量 ※参考(カメラ搭載時)

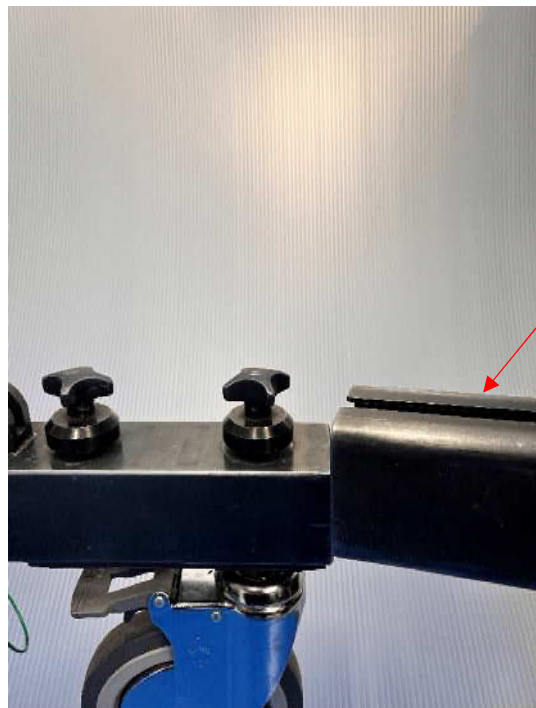
ロング 5kg 2枚、2.5kg 1枚 ※2.5kgを先に入れる

ショート 5kg 1枚

⑩水準調整

◆TI-08 にアウトリガーを取り付けます。

TI-08 の車輪部 4 箇所に出リガーを取り付けます。



・ツマミを 2 箇所緩めて、アウトリガーの切り込みに合わせて取り付けます。

◆アウトリガー取り付け後、ツマミを締めます。



- ◆アウトリガー上部のノブを回して水準調整をします。
ノブの締める方向でアウトリガーが伸び縮みします。
時計回り:アウトリガーが伸びる。 半時計回り:アウトリガーが縮む。



※地面がぬかるんでいる、床が傷つく等 NG の場合は付属のパッキンを間に挟んでご使用ください

- ◆センターポスト部に付いてあります水準器を確認して、赤丸の真ん中に水泡が来ていれば水準調整は OK です。



⑰リモコン雲台部の水準調整

◆台車部の水準調整後、リモコン雲台の水準器を確認し、水準器の気泡が中央からずれている場合は、4箇所の調整ボルトで水準を調整して下さい。



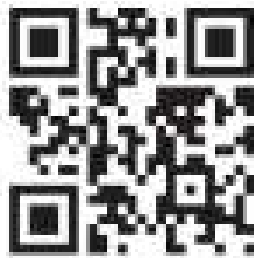
・調整ボルト:4 箇所

・水準器

◆下記項目の確認を行い、問題がなければ組立完成です。

- ・リモコン雲台部の取り付けねじ(ウイングナット)に緩みはないか
- ・カメラの水準は出ているか
- ・カメラの固定に異常はないか(落下防止バンド含む)
- ・カメラ搭載時の上下、前後バランスはとれているか
- ・リモコン雲台の正面・水平(白マーク)は合っているか
- ・アーム部(支柱部)の取り付けねじ(ウイングナット)に緩みはないか
- ・アームブレーキ(パン/チルト)は正常に動作するか
- ・ドライブアンプ、電源ボックスの固定に異常はないか
- ・操作部のツマミ(パン棒、デマンド類)に緩みはないか
- ・モニターの固定、モニター台の動作に異常はないか
- ・ウエイトバーのロックピンは入っているか
- ・操作部の操作に異常はないか
- ・カメラを搭載してのリモコン雲台動作に異常はないか
- ・カメラを搭載してのアーム部動作に異常はないか
- ・クレーン台車各ツマミ(キャスタ-、アウトリガー含む)の締め付けに異常はないか
- ・クレーン台車ターンバックルの締め付けに異常はないか
- ・各種ケーブルの配線は突っ張りなく、経路は正しいか
- ・タリーは点灯するか(タリー搭載時)
- ・レンズ動作に異常はないか
- ・モニター動作に異常はないか

◆組立完成です。



RENTACT SHOTOKU